

研修医報告ポスター（松本D）

毎日のお仕事おつかれ様です。大変遅くなりましたが、松本先生の研修ポスターを作成しました。他部門からのメッセージも一緒に紹介します。



離島医療に感心があるという事で、先生の感想をもっと聞きたかったです。また、是非奄美の来てね。

フィールドお疲れ様でした。彼女がいるという事を聞いて、ショックでした・・・私は誰？少林寺の技を見たかったです。

3階病棟

研修お疲れ様です。松本先生は、字がとても見やすくカルテのアセスメントも丁寧で、分かりやすかったです。

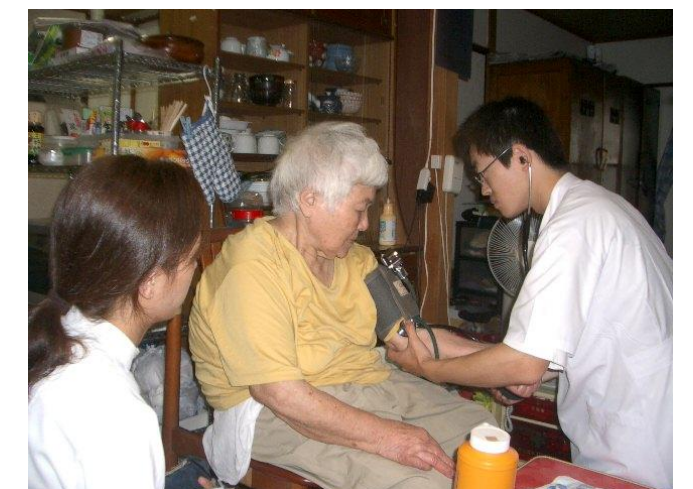
離島の医療に興味があるということで、奄美での研修を意欲的に取り組んでいましたね。是非、奄美医療生協へ戻って来てください。楽しみにしています。

4階病棟



1ヶ月半の研修お疲れ様でした。検査・手術などの研修はどうでしたか？話をする機会がなく、残念でした。先生は元々静かなほうですか？離島医療に興味がある様なので、研修が終了したらぜひ奄美に来てくださいね。

中材

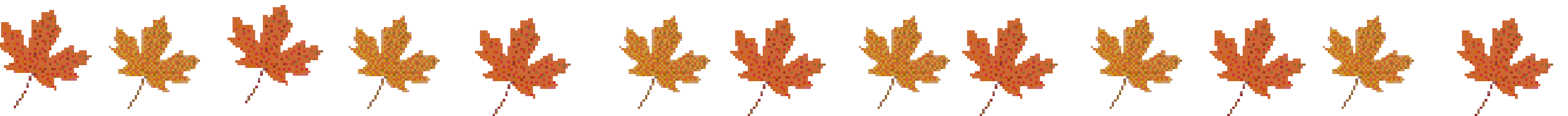




《 感想 》

奄美中央病院で1ヶ月半働かせていただいて、非常に働きやすい環境にあると感じた。臨時の指示に対しても、看護師さん、事務さんが快く引き受けてくださった。また、学習会に参加する人数が多く、知識に対して貪欲な方が多いという印象を受けた。

医局では、親近感を持って接していただいた。医療内容に関わらず、たわいもない話ができる環境は過ごしやすい上、分からない点を聞きやすいという面でも必要だと感じた。



離島医療に高い関心

「患者の顔よく見える」

松本医師(栃木県)奄美で初期研修

名瀬市

インターン制度の廃止や初期研修の導入など医師研修の改革に伴い、奄美の病院で初期研修に取り組む医師が増え始めている。大学病院での研修とは違って病院研修では患者の顔がよく見えることや、各科が連携して病状に対応できることにメリットを感じているようだ。名瀬市の奄美中央病院で研修中の松本航(まつもと・わたる)さん(三)もその一人だ。離島医療に高い関心を持っている。



奄美中央病院で研修、病棟で患者の声を聞く松本医師

初期研修は昨年度に始まり、大学病院や地域の医療機関で二年間研修する制度。松本さんは栃木県出身。昭和大学を卒業し、医師の国家試験をパスした後、「離島で研修できる」ところはない

松本さんの研修をサポートする斎藤俊医師(三)は「大学病院の研修は専門性を高めるメリットはある。地域の医療機関で

か」とインターネットで検索し、奄美中央病院の母体・鹿児島協生病院に昨年、就職した。松本さんの奄美研修は今年六月、瀬戸内町の南大島診療所から始まった。少ない医師で多くの患者を診る。急患の場合、迅速で適切な判断が求められる。患者との関係も深い。「大きな病院ではできない経験をした」(松本さん)。

3 高校16人が挑戦
名瀬市
簿記2級研修講座始まる

大島地区高等学校商業教育協会(理事長・荒殿直洋奄美高校校長)主催

の研修は一人の患者に対する各科の連携、総合的な医療が学べる。これから医療機関での研修を希望する初任者が増えるだろう」とみている。関係者は奄美研修で離島医療に携わる医師が増えることも期待している。

つ伴ス瀬し い放置問し